農地の大区画化・汎用化等の農地整備による競争力強化推進

大田原市内農業競争力強化基盤整備事業 約１千ヘクタール

圃場整備事業推進協議会の立上げ７地区に！

市内の圃場整備事業推進協議会の立上げが、７地区で面積が約890㌶となり、竣工・本換地予定の地区を含めると約一千㌶となっております。

圃場整備事業は、農村の生活環境や豊かな自然環境に配慮しつつ、効率よくおいしい作物を生産できるようにするための農業生産基盤の整備と農業経営の安定化を図る事業であり、事業を行うときは、例えば、農地を使いやすいように大区画化や四角に整形するときに水路や道路を一体的に整備した方が、別々に工事するよりも効率的・経済的で、色々な事業を組み合わせて行うことが一般的です。

また国や県から大きな支援・補助を受けることができます。

各地区の説明会に県・市職員らと共に津久井市長自らも出席し丁寧な説明を行い、様々な意見もありましたが、「草刈や水管理が楽になる」「農機具も大型化している」「今のままでは農地を貸したくても借りて貰えない」「道路が整備される」など圃場整備事業の必要性を多くの出席者にご理解をいただき圃場整備事業推進協議会の立上げが進みました。今後も未整備地区での説明会を行うなど積極的に推進し、本市の農産物生産拡大と農業所得の向上に向け尽力してまいります。

こんなに良くなる圃場整備事業

市民の皆様と共に築く大田原市 地方創生 ～高い文化水準の享受ができる街となるために～

地域おこし協力隊

人口減少や高齢化が進行する地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、豊かな自然環境や歴史、文化などの地域資源を活用し、地域力の維持・強化を図ることを目的とする取り組みです。

ロボット共生時代がやってくる

トコトコ大田原３階 こども未来館に設置されているペッパー君

市の PR および災害時・緊急時を目的としてドローンを導入

とみおNEWS

つくい富雄市政報告 VOL.8

2016 年（平成 28 年）5 月

発　行

つくい富雄励ます会事務所
大田原市上奥沢 594
TEL：0287（22）5344
FAX：0287（22）5300
発行者：つくい富雄励ます会

那須地区消防組合本部庁舎

江東区・蕨市・草加市・定住自立圏構成市町による災害協定

関東東北豪雨時、大雨特別警報発令による庁内災害対策本部会議

つくい富雄励ます会会長
斎藤典男

津久井市長は平成 22 年４月より大田原市政をお預かりして７年目となります。この間、限られた財源、限られた人材、限られた時間の中で、いかに市民の皆様の負託に応え、行政サービスに対応できるかを日々追い求め、大田原市が発展し元気になり、「市民一人ひとりが主役となって頑張れて、幸せ感を得られる大田原」を創りあげたいとの、強い思いで市政に取り組んでまいりました。

平成 23 年３月、市長就任後に発生しました東日本大震災は、多くの尊い人命を奪い、日本がかつて経験したことのない未曾有の被害をもたらしたことから、災害に強い安全安心なまちづくりのために、危機管理体制の強化に万全を期すとともに、自主防災組織の充実・整備を進め、市民の生命・身体・財産を守れるよう最大限の努力をしてまいりました。

昨年１０月には、市民の安全安心の拠点である那須地区消防組合が誕生し、消防本部庁舎、栃木北東地区消防指令センターの完成により、隣接する那須赤十字病院と合わせ、救急、医療、消防、そして災害対応の万全の体制が構築されました。

さらに、昨年は地方創生元年として、国の打ち出した「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略を勘案して、大田原市未来創造戦略を策定し、２０６０年時点での本市の人口目標を６万人といたしました。何もしなければ４万８千人まで減少すると推計されており、その実現のため雇用創出や子育て支援などの４つの基本目標を掲げ、基本目標に沿った具体的な事業内容を盛り込んでおります。本市の特徴を活かした独自の施策が展開されており、自ら主体性を発揮して知恵を絞り汗を流し、人口減少の克服と地方創生に総力を上げて取り組んでまいります。

今後も、大田原市未来創造戦略に掲げる各種施策をさらに発展させ、多岐に亘る市民ニーズと社会情勢の変化を的確に捉え策定を進めてまいります。そして、**知恵と愛のある協働互敬のまちづくり**で、安心して働くことができ、子育てがし易く、老後が楽しい大田原を目指してまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとの抱負を語られました。

熊本地震、救援物資発送

大田原市では、熊本地震で被災した熊本県嘉島町と山都町に救援物資を送った。大田原市では那須家にゆかりがあることから交流のある宮崎県椎葉村より紹介を受け、物資送付先を決めた。アルファ米などの非常食１千食分、２リットルペットボトルの飲料水 600 本、ブルーシート、歯磨きセットなどを発送した。市長は「多くの皆様が被害に遭われたこと、心よりお見舞い申し上げます。」とメッセージを添えました。

今、市民が主役のまちづくり ～子育て日本一を目指して～

子どもたちが健やかに、いつも笑顔でいられるように！

経済的負担が軽減され市民全体で支えてもらっていることに感謝し、無料化の継続を望む保護者等の声が多数寄せられております。**「給食費無料化など子育て支援に力を注ぐ本市に移り住んだ・移り住みたい・住み続けたい」**という方が多くいらっしゃるとの声を住宅メーカーや不動産業者等から寄せられております。そのような本市に多くの自治体から視察・研修の依頼が来ております。

大田原小学校

紫塚小学校

大田原小学校及び紫塚小学校の建設が H29 年 12 月の完成に向けて急ピッチで進められております。

事業費	大田原小学校	20億	600万円
	紫塚小学校	11億	7,400万円

子供医療費助成

津久井市政では、2012 年 10 月から、こども医療費の助成対象について、これまでの 15 歳から 18 歳までに引き上げました。

栃木県内の自治体では、18 歳までの医療費助成は２例目であり、こども医療費の一部をその保護者に助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進し、こどもの健康増進を図ってまいります。

2015 年 与一まつり
お見事！ 扇の的に命中！

井原市とのスカイツリータウン交流イベント！福田富一知事も駆けつけ挨拶を頂きました。

グリーンツーリズム事業 累計交流人口1万1千人突破！

宿泊客数累計五千八百人超に

大田原ツーリズム 農家民宿数も約二〇軒

津久井市長の公約でもあるグリーン・ツーリズム事業が四年で累計交流人口一一、三三七人となり、民泊客数も五、八四一人にも達し、大きな経済効果が出ております。

平成二十八年度に入り、仮予約も含め二、七〇四名（平成二十八年四月現在）の予約が入っており、昨年実績三千三百人を上回る見込みとなっております。

農家民宿数も平成二十八年四月現在申請中も含め約百二十軒と年々増加しておりますが、宿泊者数がまだまだ増えるため、受入農家を募集しております。受入に興味のある方は大田原ツーリズム（☎47－6759）迄お願いいたします。

農家民泊入村式（都内中学生）

那須神社で清掃体験！

【インバウンド】ようこそ！台湾・インド・モルジブ・ブータン他から

高齢者福祉 ～高齢者元気度 No.1 ～

野崎地区見守り隊発足式

これにより市内全地区に組織化されました。その他、生涯学習を進めることにより、健康長寿で高齢者が積極的に社会参加できるように進めていきます。

敬老祝い金贈呈

大田原市新庁舎は8階建て 1階に市民協働エリア

基本設計 「那須与一」にちなみ弓形

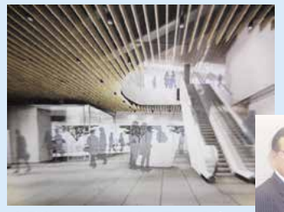
事業費は、国の大きな支援により五十七億円

新庁舎は地上八階建て、一階は市民が集える市民協働フロアと位置づけ、二階以上を執務フロアとします。

利便性を考え四百三十台分の駐車スペースを確保します。

構造は鉄骨造り（一部鉄筋コンクリート）、延べ床面積約一万㎡。周辺への圧迫感を緩和するため、正面と裏面は緩やかな曲面とし、那須与一にちなみ、弓形をイメージした外観となります。場所は、現在の市役所敷地内で、東日本大震災で被災し取り壊した庁舎跡に建設します。一階は多様な市民活動に利用できる市民協働エリアに加えて、カフェや市民ギャラリーなどを配置する。柱部分に免震装置が付く「柱頭免震構造」とし、災害時の一時避難、復興支援など防災拠点としての機能も持たせます。新庁舎の総事業費は五十七億円（財源計画は別紙の通り）を想定。二〇一七年度着工、十九年度中の完成を目指します。

外観イメージパース


1階エントランスロビー

高市総務相から、庁舎再建支援の約束

【財源計画】

震災復興特別交付税	15 億円
地方債	27.7 億円
公共施設整備等基金	10 億円
一般財源	4.3 億円
合計	57 億円

地方債には、合併特例債・被災施設復旧関連事業債があり一定の要件により、元利償還金の 70%に対し普通交付税の措置があります。